

2023年度（第64回）日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

第1ラウンドを終えて（6月13日火）

秋田カントリー倶楽部

森村 美優（屋島CC） 72S 17位タイ

日本女子アマチュアゴルフ選手権に出場した森村美優（屋島CC）は、第1ラウンドを4バーディ、4ボギーのイーブンパー72で回り、首位と3打差の17位タイにつけた。このラウンドは「よくできたんじゃないかなと思います。アンダーにならなかった部分は力不足なのかなと思うんですが、それでもちゃんとオーバーにはならずイーブンで収められました。全国大会という舞台の良いセッティングの中でのイーブンだったので、成長しているんじゃないかな」と表情は明るかった。昨年の大会では26位タイだったが「技術はそこそこだと思んですが、メンタルの切り替えの部分は今回かなり良かったのかな。



バーディをとっても、次のホールでボギーになる確率が高くて、バーディ、ボギーの繰り返しでした。そういうところは弱いと思うんですが、ボギー一つで食い止められてしかもその後にバーディがとれたというのが繰り返してきたので、獲れるところは獲れていたんじゃないかなと思います」と彼女自身の成長を感じさせた。開催コースの秋田CCについては「飛距離が出るのと（前の）木が出ていたりとか、技術が問われるコースだと思います。ちゃんと打たないとフェアウェイにもいかないし、木にもかかるし、長い所もあるし」と難しさを感じた。しかし「右に行く球がここ最近ずっと続いていて、持ち球はドローなのでちょっと気持ち悪い部分はあります。でも受け入れて、風の向きなども考えてプレーできていた」とコースマネジメントで対応ができています。残り3日間、「欲を言えばアンダー、悪くてもイーブンでは上がって、ちゃんと最終日までプレーしたい」と手応えを感じている様子で、楽しみだ。

高岸 鈴（高原GC） 75S 57位タイ



今年の四国女子アマチュアチャンピオンの高岸鈴（高原GC）は、1バーディ、4ボギーの3オーバーパー75の57位タイと出遅れた。「パットのタッチが合わなくて、ボギーが続いて、出だしが悪かったな」と10番ホールからスタートして、4ホールで3ボギーだったプレーを悔やんだ。それでも「ショットの調子はそのままで悪くないので、パットのタッチを合わせて、明日はアンダーで回れたらな」と気持ちを切り替えていた。「コツコツスコアを重ねていって、目標はトップテンなので、とりあえずアンダーで終えられたら」と明日以降の巻き返しを誓った。

2023年度（第64回）日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

第2ラウンドを終えて（6月14日水）

秋田カントリー倶楽部

日本女子アマチュアゴルフ選手権の第2ラウンドが14日、秋田カントリー倶楽部（6,409ヤード パー72）で行われ、高岸鈴（高原GC）、森村美優（屋島CC）が共に通算1オーバーパーの15位タイで第3ラウンドへ進出した。

高岸 鈴（高原GC） 145s（75・70） 15位タイ



四国チャンピオンの高岸が3バーディ、1ボギーの2アンダーパー70をマークし、上位に浮上してきた。この日は「ショットが良く、フェアウェイキープ出来て、ラフに入ることがなかった。パーオンも1回グリーンを外しただけであとは乗った」と好スコアの要因を挙げた。ただパットが入らず、チャンスで決められていたら「もうちょっと行けたかな」と少し悔しさをにじませた。前日は75とスコアを伸ばせず、これ以上スコアを「落としちゃいけない」と思って、安全めに「この日はプレーした。これで、残り2日間。「トータルではアンダーにしたい。60台を出せたらな、と。あとはいっただけなので攻めていって、ちょっとでも上位に行けるように頑張りたい」と表情は明るかった。

森村 美優（屋島CC） 145s（72・73） 15位タイ



森村は、この日10番ホールからスタートし、いきなり連続バーディと好調な滑り出しだった。しかし、そこからまさかの4連続ボギー。さらに17番もボギーとスコアを落としてしまった。なかなかパーを拾えない状況で、自分では「パニックしていないと思っても、ここがパニックしている」状態だったという。「やばい。このままだったら予選落ちしちゃう」ぐらいの気持ちに追い込まれていた。

ターニングポイントは18番ホールだった。残り85ヤードの第3打を58度のウェッジで2メートルにつけて、「ここで入れないと切り替えられない」と思ってバーディパットを沈めた。これで流れが変わった。その後は1バーディ、ノーボギーで切り抜けた。この日は1オーバーパーの73でまとめ、苦しい状況の中でなんとか耐えた。「あと2日間あるのでトータルでアンダーにしたい」と奇しくも高岸と同じ目標を口にした。2人の残り2日間の奮闘に期待したい。

● 四国地区選手の結果

都 玲華（JクラシックGC） 149s（78・71） 45位タイ
=CUT= 149S

菊田 ひな（高松CC） 150s（73・77） 64位タイ

川上 知夏（エリエールGC松山） 152s（76・76） 93位タイ

堂西 亜希子（屋島CC） 158s（76・82） 136位タイ

SGUSHIKOKU GOLF UNION

提供：JGA

2023年度（第64回）日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

第3ラウンドを終えて（6月15日木）

秋田カントリー倶楽部

日本女子アマチュアゴルフ選手権の第3ラウンドが15日、秋田カントリー倶楽部(6,409ヤード/パー 72)で行われ、森村美優(屋島CC)がスコアを3つ伸ばして首位グループと1打差の通算2アンダーパーで4位タイに浮上。また、都玲華(JクラシックGC)もスコアを3つ伸ばし、通算2オーバーパーの15位タイ。高岸鈴(高原GC)は通算3オーバーパーの21位タイで明日の最終日を迎える。

★ 森村 美優 (屋島CC) 214s -2 (72・73・69) 4位タイ

ムービングデーの3日目、3バーディノーボギーの69ストロークで優勝争いに名乗り出た森村。ショット、パター、とりわけ何か良かったわけではなく、チャンスの場面でバーディを獲れたことがこのスコアに繋がったという。ホールアウト後、「もう少しスコアを伸ばせたいと思いますけど、欲を言ったらだめです」と笑いながらも、「明日アンダーパーで終われば、四国の人たちも喜んでくれると思います」と日ごろからお世話になっている地元の人たちや連盟の人たちへの恩返しを誓った。



★ 都 玲華 (JクラシックGC) 218s +2 (78・71・69) 15位タイ



初日、6オーバーパーで出遅れた都だが、昨日の第2ラウンドを1アンダーパーの滑り込みで予選通過を決めると、本日の第3ラウンドは3アンダーパーでまわり、通算2オーバーパーで15位タイにつけた。「今日はショットが安定していて、後半2回ミスがありましたけどフェアウェイからしっかり打って、グリーンもそんなに外さなかったのが良かったと思います。」と今日のラウンドを振り返った都だが、「最初の2日間でもう少しまとめたかった。」と言うように初日の出遅れが悔やまれる。

本選手権で10位以内に入れば日本女子オープンゴルフ選手権の最終予選から出場権を獲得できるため、「真剣に1打1打プレー出来たら10位以内もいけると思います。」とあくまで目標を10位以内に定めるが、ポテンシャルは高いだけに十分優勝も狙えるはずだ。

★ 高岸 鈴 (高原GC) 219s +3 (75・70・74) 21位タイ



昨日の第2ラウンドをアンダーパーでまわった高岸だったが、第3ラウンドの本日は終始、耐えるゴルフを強いられる苦しい展開に。「チャンスがあった中で決めきれなかったのが悔しいです」と言うように、チャンスにつけてもパットが入らず思うようにスコアを伸ばすことができなかった。明日の最終日は「トータルイーブンくらいに戻りたい。」と四国チャンピオンの意地を見せてくれるはずだ。

2023年度（第64回）日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

第4ラウンドを終えて（6月16日金）

秋田カントリー倶楽部

秋田カントリー倶楽部(6,409ヤード/パー 72)が舞台の日本女子アマチュアゴルフ選手権は16日、最終日(第4ラウンド)を迎え、森村美優(屋島CC)が通算8オーバーパーで8位タイに入り、来年の本選手権のシード権と今年の「日本女子オープン」の最終予選の出場権を獲得した。また都玲華(JクラシックGC)通算5オーバーパーの14位タイ。高岸鈴(高原GC)は通算9オーバーパーの37位タイで大会を終えた。

★ 森村 美優 (屋島CC) 291s +3 (72・73・69・77) 8位タイ



好きな雨の中でのラウンドも開口一番、「疲れましたね」と話したように、森村にとって暴れるドライバーショットとアイアンショットに振り回された1日となった。本日の最終ラウンドを首位グループと1打差の状況でスタートした森村だったが、大きな大会で、上位でプレーするのは初めてだった。「意識はしていなかったですが、どこかで緊張していましたね」というように、初めての経験がショットの不調さに影響した。

それでも3度目の本選手権で初めてトップ10に入り、来年のシード権を得た。次の目標は、地元四国で行われる「四国ジュニアゴルフ選手権」での優勝。「今後勝つためにはこういう事も経験しないとけないと思うので、この位置プレーできたのは今後生きてくると思います。」1年後、千葉で見る彼女の成長ぶりが楽しみだ。

★ 都 玲華 (JクラシックGC) 293s +5 (78・71・69・75) 14位タイ

昨日、3アンダーパーで一気に上位に浮上したものの「今日はティーショットが方向のズレで、ラフにいつてしまったり、セカンドが出すだけになってしまったりで少しずつボギーが積み重なってきてしまって、パターも悪くありませんでしたが、一筋違ったり蹴られたりでした。」とアンラッキーな1日となってしまった。もう少し出来たかなと言うように、本来のプレーが中々見せられず、不完全燃焼で終わってしまった都だが、取り組んでいる課題の成果を実感できた4日間でもあり、充実した表情を見せてくれた。今年の目標はプロテスト合格、彼女の奮闘を応援したい。



★ 高岸 鈴 (高原GC) 297s +9 (75・70・74・78) 37位タイ



「まだまだなんだなと思いました。今日は4アンダー出してオープンまで戻したかったんですけど、バーディスタートでしたが、2メートルくらいのバーディパットを外してからパターが蹴られてばかりで流れが悪くなってズルズルいった感じでした。全体的に足りてないのでレベルアップしたいなと思います。」